



# AIとデジタル・ライブラリー

大向 一輝

東京大学大学院人文社会系研究科

# 自己紹介

学部生～博士課程(～2005)

- 1999: 生物の進化を模倣した人工知能技術の研究
- 2002: インターネット上の知識共有・コミュニケーションの研究

国立情報学研究所(2005～2019)

- 2009: 学術情報サービスCiNiiの開発責任者
- 2019: メディア芸術データベースのプロデューサー

東京大学(2019～)

- 2019: デジタル人文学の研究教育
- 2021: 人工知能学会理事
- 2021: デジタルアーカイブ学会理事
- 2023: 大江健三郎文庫デジタルアーカイブ
- 2025: デジタル人文学プログラム

# 東京大学大学院人文社会系研究科デジタル人文学プログラム

東京大学大学院人文社会系研究科

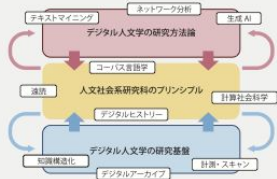
## デジタル人文学プログラム

### ▶プログラムの概要

デジタル人文学プログラムは、デジタル・ヒューマニティーズや人文情報学と呼ばれる新たな研究方法論、デジタルアーカイブなど拡大・普及しつつある研究基盤の理解および活用を目的とした大学院生向けの教育プログラムです。

本研究科が対象とする広汎かつ多様な学際領域を対象として、情報技術に関する知識やスキルの習得、研究プロセスの効率化や、従来のアプローチでは扱えることが困難であった大規模・複雑なデータの共有、また各種手法やデジタル情報に対する批判的視座の獲得を目的とします。

本プログラムは東京大学大学院人文社会系研究科のすべての専攻に所属する大学院生が履修できます。



### ▶カリキュラム

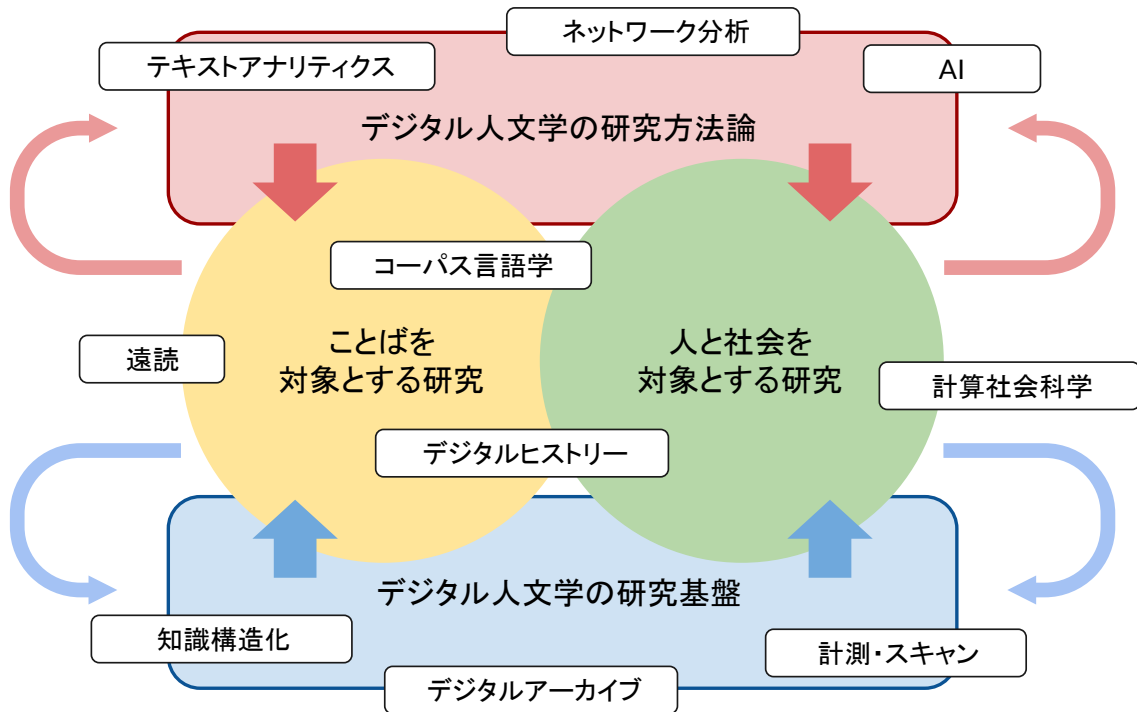
カリキュラムは基礎科目・実践科目・応用科目から構成されており、座学や実習形式による情報技術の理解から、各人の研究テーマへの反映や関連学会での発表・論文執筆まで、濃度に応じて幅広く対応します。

基礎科目 4 単位・実践科目 2 単位以上・応用科目 4 単位以上を含む 10 単位以上を修得することにより、本プログラムの修了証が授与されます。

基礎科目	デジタル人文学の研究方法論1 デジタル人文学の研究基礎1
実践科目	デジタル人文学の研究方法論2 デジタル人文学の研究基礎2
応用科目	デジタル人文学演習 1・2 デジタル人文学入門 デジタル人文学の基礎 文化遺産と情報をつなぐ 言語研究のための情報処理 人文学テキスト構造化論 歴史情報学入門

### ▶プログラムの詳細・問い合わせ

東京大学大学院人文社会系研究科・文学部  
次世代人文情報センター人文情報学部  
dhl@u-tokyo.ac.jp  
<https://digital.l.u-tokyo.ac.jp>



# AIとは

- 人工知能学会設立趣意書

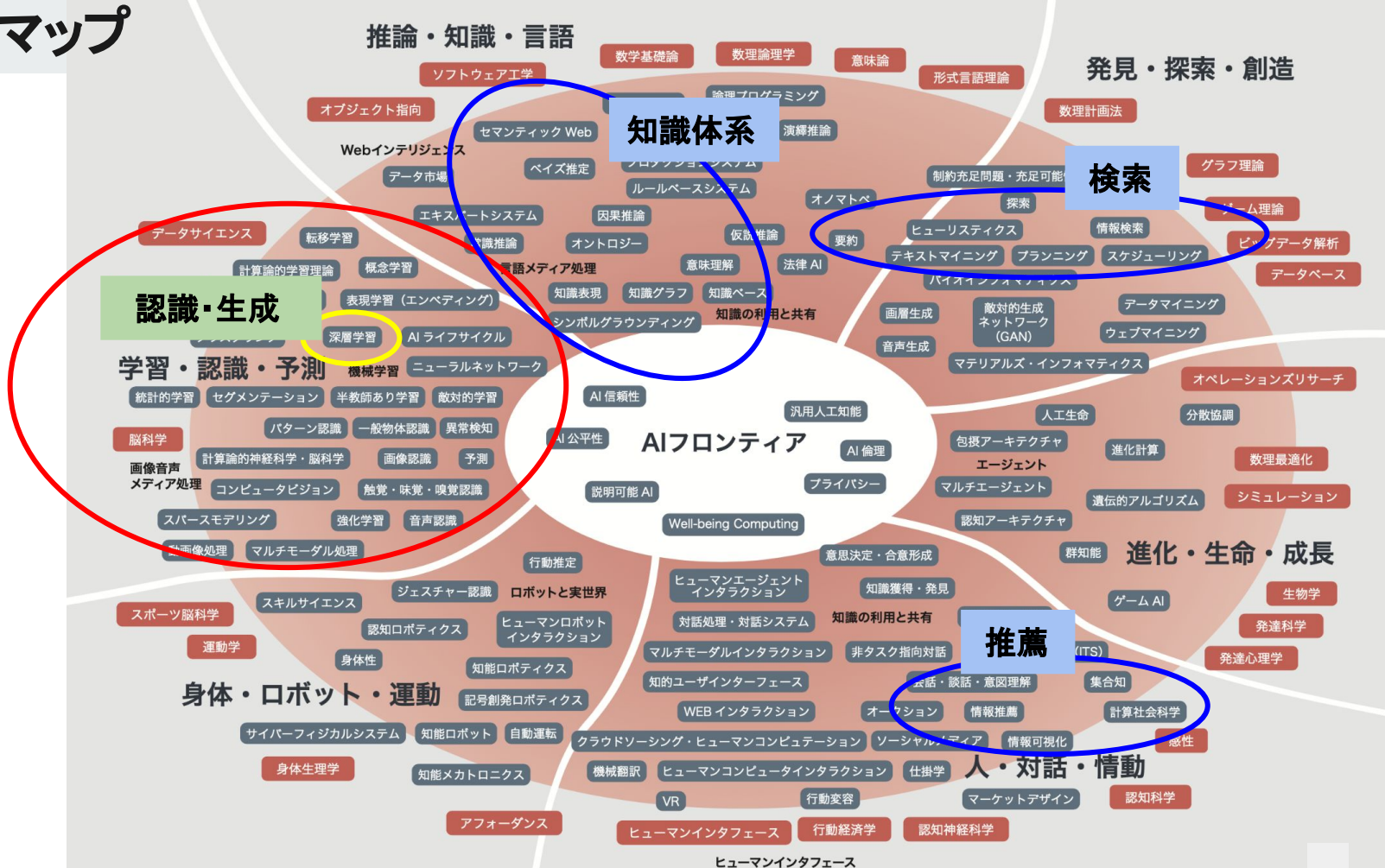
- 頭脳の働きに代わる機械が欲しいという人類の夢は、大量の数値データに対して複雑な計算を高速に行うという面では、電子計算機により実現された。現在の情報処理技術はこの意味においては、人間の能力をはるかに越えたものといえるが、一方、思考という本質的な面では、全くといっていいほど無力である。人工知能は大量の知識データに対して、高度な推論を的確に行うことを目指したものである。(1990)

- 人工知能 - Wikipedia

- 「『計算』という概念と『コンピュータ』という道具を用いて『知能』を研究する計算機科学の一分野」を指す語。「言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピュータに行わせる技術」、または、「計算機による知的な情報処理システムの設計や実現に関する研究分野」ともされる。



# AIマップ



# AIと図書館：検索・推薦

東京大学 OPAC  
The University of Tokyo Library OPAC

HOME ASK MyOPACサービス 新着図書 データベース一覧 TREE (まとめて検索) Repository デジタルアーカイブ 附属図書館

東京大学OPAC Cinii Books Cinii Research IRDB 国立国会図書館サーチ

東京大学OPAC 東京大学が所蔵する図書や雑誌、電子ジャーナル・電子ブックを検索します。

検索条件を閉じる

簡易検索 詳細検索

大向一輝 検索 クリア

絞込項目

所蔵館  
駒場図書館 (7)  
総合図書館 (6)  
柏園書館 (3)  
本郷キャンパス (2)  
文学部 (2)

データ種別  
全てのデータ種別  
図書 (10)  
電子ブック (2)

検索結果

検索キーワード：大向一輝

該当件数:12件

並び順: 出版年(降順) 一覧表示件数: 20 件

全選択  メール送信  ファイル出力  RefWorks出力  EndNote出力  選択した資料の詳細表示

1. IIIF(トリプルアイエフ)で拓くデジタルアーカイブ：コンテンツの可能性を世界につなぐ / 大向一輝 [ほか] 編  
東京：文学通信，2024.7  
■ 図書 <2003707660>

2. 共振するデジタル人文学とデジタルアーカイブ / 鈴木親彦責任編集  
東京：勉誠社，2023.7. - (デジタルアーカイブ・ベーシックス；[2-2])

印刷  
メール送信  
RefWorks出力  
EndNote出力  
Mendeley出力

このページのリンク  
https://opac.dl.itc.u-tok コピー

QRコード

他の検索サイト  
UTokyo Article Link  
Cinii Books  
国立国会図書館サーチ  
カーリル  
Google Books  
Google Scholar  
WorldCat  
JAPAN SEARCH  
TREE

デジタル・ヒューマニティーズとデジタルアーカイブ / 赤間亮 [著]  
デジタルアーカイブ社会実現に向けたレイヤー構造の必要性と人文学の役割 / 永崎研宣 [著]  
人文学の大規模な研究基盤構築 / 山本和明 [著]  
大学図書館におけるDHとデジタルアーカイブ / 西岡千文 [著]  
史料をデータとして考える / 山田大造 [著]  
デジタルアーカイブはデジタル・ヒューマニティーズに対して何ができるか? / 大沼太兵衛 [著]  
デジタルアーカイブの活用に向けたコミュニティ形成 / 小嶋尚樹 [著]  
デジタル・ヒューマニ... 続きを読む

内容注記

一般注記  
標題紙・背の出版者表記: 勉誠出版  
参考文献: 章末

著者項目  
鈴木 親彦 (1980-) イヌキ、チカヒコ

件名  
BSH:デジタルアーカイブ  
NDSL:人文学  
NDSL:デジタルアーカイブ

分類  
NDC9:007.5  
NDC10:007.5

本文言語  
日本語

書誌ID  
2003669858

ISBN  
9784585303022

NCID  
BD03075409 Cinii

目次/あらすじ  
「openBD」より  
▶ 共振するデジタル人文学とデジタルアーカイブ  
[目次]  
デジタル・ヒューマニティーズとデジタルアーカイブ  
デジタルアーカイブ社会実現に向けたレイヤー構造の必要性と人文学の役割  
人文学の大規模な研究基盤構築  
大学図書館におけるDHとデジタルアーカイブ  
史料をデータとして考える  
デジタルアーカイブはデ... 続きを読む

類似資料

1 デジタルアーカイブの新版  
開 / 時美英一著

2 デジタルアーカイブの理論  
と実践: デジタルアーキ  
スト入門 / 日本デジタル  
アーキスト資格認定機構  
; 井上透, 大井将生, 堀川季  
穂責任編集

3 知識インフラの再設計 / 数  
藤彦彦責任編集

4 デジタル時代のアーカイブ  
系譜学 / 加藤諭, 宮本雅史  
編

検索結果一覧に戻る

前へ [2/12] 次へ

# AIと図書館: 知識体系

## Web NDL Authorities

国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス

キーワード検索 分類記号検索 典拠ID検索 English ヘルプ

デジタルアーカイブ 検索

すべて  名称のみ  普通件名のみ  ジャンルのみ

### デジタルアーカイブ

国立国会図書館のサービス

以下のリンクボタンから国立国会図書館サーチで検索ができます。

件名検索

詳細情報	グラフィカル表示
ID	01056398
典拠種別	普通件名
skos.inScheme	
名称/タイトル	デジタルアーカイブ
xl.prefLabel	
名称/タイトルのカナ読み	デジタルアーカイブ
ndl.transcription@ja-Kana	
名称/タイトルのローマ字読み	Dejitaruakaibu
ndl.transcription@ja-Latn	
上位語	<a href="#">情報活動</a>
skos.broader	
関連語	<a href="#">ドキュメンテーション</a> ; <a href="#">情報処理</a> ; <a href="#">デジタル方式</a> ; <a href="#">デジタル化</a>
skos.related	
分類記号	<a href="#">007.5</a> (NDC10); <a href="#">014.616</a> (NDC10); <a href="#">007.5</a> (NDC9); <a href="#">014.614</a> (NDC9); <a href="#">UL31</a> (NDLC); <a href="#">UL755</a> (NDLC)
skos.relatedMatch	
出典	デジタルアーカイブ白書. 2001 imidas 2006
dct.source	
作成日	2006-09-01
dct.created	
最終更新日	2022-07-26T15:56:56
dct.modified	
外部サイトへのリンク	<a href="#">Wikipediaで検索を行う</a>

## Web NDL Authorities

国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス

キーワード検索 分類記号検索 典拠ID検索 English ヘルプ

デジタルアーカイブ 検索

すべて  名称のみ  普通件名のみ  ジャンルのみ

### デジタルアーカイブ

国立国会図書館のサービス

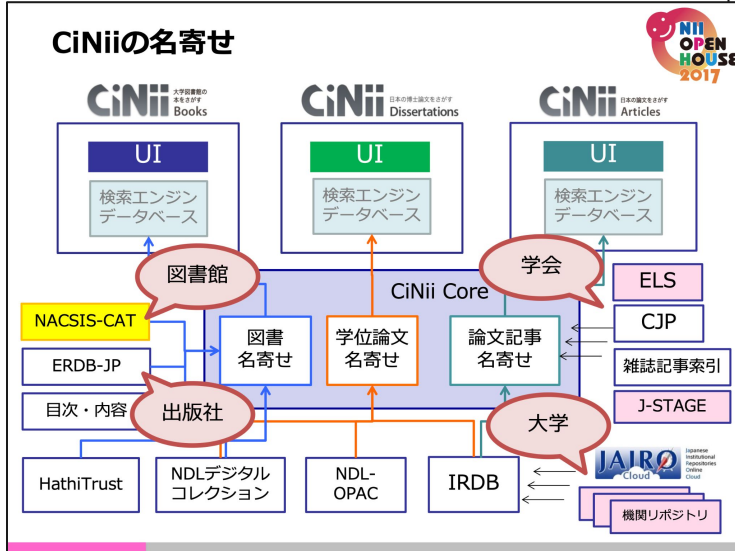
以下のリンクボタンから国立国会図書館サーチで検索ができます。

件名検索

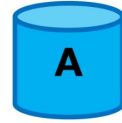
The diagram illustrates the conceptual structure of the Digital Archive. At the center is a red box labeled 'デジタルアーカイブ'. It is connected to several related concepts: 'デジタル化' (Digitalization) above, 'デジタル方式' (Digital method) to the right, 'ドキュメンテーション' (Documentation) below, '情報処理' (Information processing) to the left, and '情報活動' (Information activity) to the right. A vertical stack of boxes on the right side represents the hierarchy of terms: '上位語' (Superordinate term) in red, '下位語' (Subordinate term) in yellow, and '関連語' (Related term) in yellow.

# AIと図書館：認識

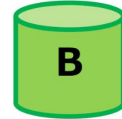
## CiNiiの名寄せ



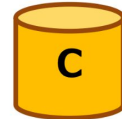
## 名寄せと機械学習



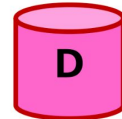
**人工知能の未来**  
ビット社、2017年



**AIの未来**  
ビット社、2017年



CiNiiについて  
**大向**、鈴木、山田



情報検索入門  
山田、**大向**

同じ本？  
別の本？

タイトルが似ている？  
出版社・発行年は同じ？  
同じ共著者がいる？

機械学習による名寄せ  
(サポートベクタマシン)

精度99.7%

人による最終チェック

公開

研究 6/10

# これから委員会

- これからの学術情報システム構築検討委員会
  - 「大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議」の委員会
    - 総合目録データベースを中心とした学術情報システムの構想
    - 2012年6月～(計45回)
    - <https://contents.nii.ac.jp/korekara>
- AIに関する議論
  - 委員会・作業部会にて計8回の懇談・情報共有(2024年～)
    - 国内外の事例・動向
    - 課題とその解決
  - 3つのテーマ
    - 図書館業務
    - 図書館サービス
    - AIリテラシー

### New Record From AI Assistant

Enter the metadata and/or images you want to use to generate the record. It will be pushed to MDE when ready.

Title\*

Author

ISBN

Content Note

Attachments  
Upload up to 4 images of the book (e.g. back cover, colophon)

Summary Note

Record Format  
**Marc21**

Expand from Template  
**Books**

Requested Metadata

### The Adventures of Sherlock Holmes / Sir Arthur Conan Doyle ; with an introduction by Dr. Julian Wolffreys.

Level [00] [60] University Level - [Record] [New] [AI Generated] [78] [MARC21 Bib]

LDL	0000cam#a220000#4500
008	230101sxxx####enik#####000#1#eng##
020	\$Sa 1-85326-033-9
040	\$Sa
041	\$Sa eng
050 0 0	\$Sa
100 1	\$Sa Doyle, Arthur Conan, \$Sd 1859-1930, \$Se author. \$B \$C
240 1	\$Sa
245 1 4	\$Sa The Adventures of Sherlock Holmes / \$C: Sir Arthur Conan Doyle ; with an introduction by
246 1 1	\$Sa \$B
250	\$Sa \$B
264 1	\$Sa Ware, Hertfordshire, England : \$B Wordsworth Editions, \$C 2015
300	\$Sa p. \$C cm
336	\$Sa text \$B txt \$S2 rdacontent
337	\$Sa unmediated \$B n \$S2 rdamedia
338	\$Sa volume \$B nc \$S2 rdacarrier
490 1	\$Sa Wordsworth Classics \$V
500	\$Sa This edition of The Adventures of Sherlock Holmes contains the earliest cases of the great
500	\$Sa Cover design by Robert Mathias, Publishing Workshop. Cover illustration, a detail from an
520	\$Sa Publisher description: "This edition of The Adventures of Sherlock Holmes contains the ear
588	\$Sa Part of the metadata in this record was created with the help of AI Metadata Assistant
502	\$Sa
505 0 0	\$Sa
650 0	\$Sa Detective and mystery stories, English.
650 0	\$Sa Private investigators \$Bv Fiction.
600 1 0	\$Sa Holmes, Sherlock \$C: (Fictitious character) \$Bv Fiction.
650 0	\$Sa Criminal investigation \$Bv Fiction.
655 7	\$Sa Detective and mystery fiction. \$S2 lcgft
651	n ee- eev

You have 4 warning(s) in your record - 12:43:57 PM.

### The Complete Illustrated Lewis Carroll (99252441500521)

Record [02] [35] [MARC21 Bib]

LDL	00234nam#a2200085#4500
001	99252441500521
005	20250304055445 0
008	250304s2022###x#####000#
100 1	\$Sa Carroll, Lewis, \$Sd 1832-1898.
245 1 0	\$Sa The Complete Illustrated Lewis Car

### Enrich Record With AI Assistant

Enrichment will be done according to the metadata in the record. You may also upload images of the book. In order for the AI assistant to be able to enrich the record, it will be released and locked for editing. The enriched draft will be pushed to MDE when ready.

Title  
The Complete Illustrated Lewis Carroll

Requested Metadata\*  
Requested Metadata: Request Content Information

Request Additional Metadata

Attachments  
Upload up to 4 images of the book (e.g. back cover, colophon)

	File Name	
1	Complete lewis carroll ToC.jpg	...
2	Complete lewis carroll title verso.jpg	...

Cancel Enrich Record

Alma AI Metadata Assistant in the Metadata Editor

[https://knowledge.exlibrisgroup.com/Alma/Product\\_Documentation/010Alma\\_Online\\_Help\\_\(English\)/Metadata\\_Management/005Introduction\\_to\\_Metadata\\_Management/The\\_AI\\_Metadata\\_Assistant\\_in\\_the\\_Metadata\\_Editor](https://knowledge.exlibrisgroup.com/Alma/Product_Documentation/010Alma_Online_Help_(English)/Metadata_Management/005Introduction_to_Metadata_Management/The_AI_Metadata_Assistant_in_the_Metadata_Editor)

- Alma AI Metadata Assistant in the Metadata Editor
  - 書誌データを新規作成する際、「タイトル」等の項目や、表紙、標題紙等の情報源の画像を入力すると、AIが書誌データを生成する。
  - 入力する情報源の画像が多いと、比較的正確な書誌データを生成するが、少ない場合等、データを有していない情報源から生成した場合、根拠が不明な誤情報を含んだ書誌データを生成する可能性がある。
  - 情報源が同一でも作成のたびに異なる書誌データを生成する傾向にある。
  - 日本語の書誌データでは、ALA-LC翻字表に近いローマ字ヨミを生成する傾向にある
    - NACSIS-CATの書誌作成の補助ツールとして、これに近い機能を図書館システム・ネットワークのサービスとして実装できないか。
- NDC Predictor <https://lab.ndl.go.jp/ndc/>
  - 国立国会図書館次世代システム開発研究室が機械学習の技術を利用して開発した、日本十進分類法(NDC9版)による分類記号の自動推定アプリ。
  - 書誌情報をテキストエリアに貼り付け、推定を行う。

これから委員会2012-2025

ソース

これから委員会2012-2025

43 ソース

これらの議事要旨は、これらの学術情報システム構築検討委員会における、2012年から2024年にかけての議論と活動記録をまとめたものです。主要な議題は、総合目録データベース（NACSIS-CAT）の将来的な再構築と、それに伴うメタデータの流通・公開方針の策定です。委員会は、電子リソースデータ共有（ERDB-JP）や電子書籍の取り扱いなど、電子情報資源への対応強化を検討し、NACSIS-CATのデータ公開条件の拡大を進めました。また、新たなシステムモデルやワークフローの検討、そして学術情報基盤を支えるユーザーグループの設立を通じ、大学図書館と国立情報学研究所（NII）との連携・協力を強化する方針が示されています。

「これからの学術情報システム構築検討委員会」の主要な検討課題と方向性はどのように変遷したか？

「これからの学術情報システム構築検討委員会」の主要な検討課題と方向性は、委員会が発足した2012年以降、学術情報流通の環境変化に対応しながら、電子情報資源の取り扱いと既存システムの刷新、そして利用者視点での統合的な環境整備を中心に変遷してきました 1 2。

以下に主要な検討課題と方向性の変遷を時系列でまとめます。

1. 委員会の発足と初期の検討課題（2012年頃）

委員会は、国立大学図書館協会（NUL）が出した2つの報告書に基づき、「電子情報資源を含む総合目録データベースの強化を図る委

## 目録システムコーディングマニュアル (NCR2018対応版)

目次

9.1B の「TR (タイトル)」「(1)および「CW」(1)および「し」

51 図書#5.15.0.2 (該当なし)

2.2.4F3.2 (2.2.4F3.2)

2.2.1F4.2 (2.2.1F4.2)

1.1.3A (1.1.3A)

2.2.1F4.2 (2.2.1F4.2)

2.3.2H2 (2.3.2H2)

51 総説・属性総則#1.10.2任意追加 (該当なし)

2.2.7F2.1 (2.2.7F2.1)

2.3.1E1.3.1 (2.3.1E1.3.1)

## 目録情報の基準 第6版

2024年10月

国立情報学研究所

注意：このマニュアルは、NCR2018適用開始（2024年10月31日）以降に使用するためのマニュアルである。

目次

はしがき

改訂に当たって

第0部 日本目録規則2018年版について

0.0 日本目録規則2018年版のNACSIS-CATへの適用について

0.1 概念モデル

0.1.1 実体

0.1.2 属性

0.1.3 関連

0.1.4 名称、識別子と統制形アクセス・ポイント

0.2 概要

0.2.1 エレメント

0.2.1.1 下位のエレメント

0.2.1.2 コア・エレメント

0.2.1.3 エレメントの記録の方法

0.2.1.4 実体の記述

0.2.2 属性の記録

0.2.3 資料の種類

0.2.4 アクセス・ポイントの構築

0.2.5 関連の記録

0.2.6 書誌階層構築

0.3 NCR2018とNACSIS-CATの用語の対応表

図書館業務とサービスに対するAI技術の適用の動向

## AIによる図書館業務・サービスの適用動向：要点整理

AIは図書館において、バックヤード業務の自動化と利用者サービスの高度化を同時に進める中核技術として位置づけられつつあります。

### 主な適用分野と機能

- 業務（バックエンド）への適用**
  - 目録・分類・メタデータ自動生成：機械学習・NLPによる自動目録・件名付与・OCRでの文字認識が普及しつつあり、特に大量資料や特別コレクションで有効 1 3 9 14 17
  - 収集・コレクション開発支援：貸出・アクセスログを解析し、収集方針や電子資源契約を最適化する予測分析が利用されている 2 3 8 9 11
  - 運営・意思決定支援：利用動向のデータ分析に基づく人員配置・開館時間・予算配分などの意思決定支援 2 5 6 7 18
- サービス（フロントエンド）への適用**
  - レファレンス・案内チャットボット：24時間対応・多言語サポート・FAQ応答など、基本的問い合わせを自動処理し、複雑な質問は司書にエスカレーション 1 3 9 10 11 12 14 15
  - レコメンド・パーソナライズ：閲覧履歴や興味に基づく資料推薦、学習コンテンツのパーソナライズ 1 2 3 8 9 11 17
  - 検索・発見の高度化：意味検索、類義語展開、画像・音声も含めたマルチモーダル検索など 1 3 7 9 13 17
  - アクセシビリティ向上：音声読み上げ、翻訳、自動要約などによる障害者・多言語利用者支援 3 6

Ask a follow up...

Pro Sources Filter

Library AI Application Trends

## 図書館業務とサービスに対するAI技術の適用の動向

Executing Plan...

I'll help you explore the trends in AI technology applications for library operations and services. Let me start by conducting a comprehensive literature search on this topic.

Searching scholarly literature for AI applications in library operations and services

I'll search across multiple academic databases to find relevant research papers on how AI is being applied to library work and services.

Searching Literature

I'll conduct a comprehensive search across multiple databases for AI technology applications in library operations and services.

Searched SciSpace what are the applications ...

Searched SciSpace Full Text artificial intel...

Agent is running...

Stop or give instructions...

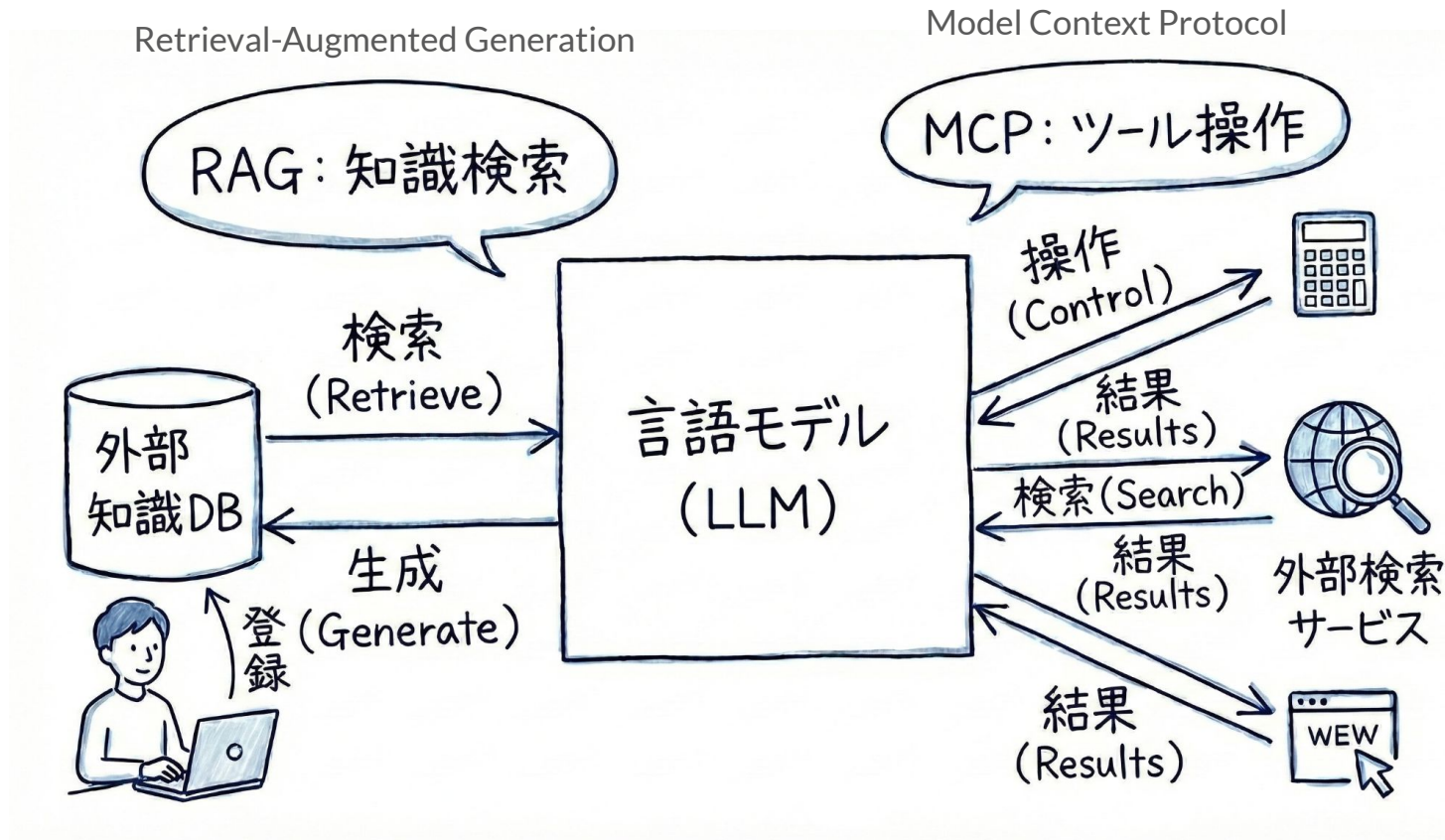
Live Activity Outputs

Papers (96)

	Relevance
<input type="checkbox"/> 1. <b>Transforming Libraries with Artificial Intelligence: Applications, Benefits, and Future Trends</b> 2025 · SciSpace P Y RAVISH ... +1 more International Journal of Engineering an... Journal Article 66 Cite Get PDF @ DOI	<ul style="list-style-type: none"><li>Relevance Score: 98/100</li><li>Relevance Tag: Highly Relevant</li><li>Reasoning: Uses AI for cataloguing, ch...</li></ul>
<input type="checkbox"/> 2. <b>Artificial Intelligence Applications in Modern Library Services.</b> 10 Citations · Google Scholar D Praveenraj ... +1 more 66 Cite Get PDF	<ul style="list-style-type: none"><li>Relevance Score: 87/100</li><li>Relevance Tag: Highly Relevant</li><li>Reasoning: Uses AI to improve catalogi...</li></ul>
<input type="checkbox"/> 3. <b>Delivery and enhancement of library services in academic libraries leveraging artificial intelligence (AI) as a tool: A study</b> 2025 · SciSpace Kaladhar Arnepalli Pearl: A Journal of Library and Informa... Journal Article 66 Cite Get PDF @ DOI	<ul style="list-style-type: none"><li>Relevance Score: 80/100</li><li>Relevance Tag: Highly Relevant</li><li>Reasoning: Uses AI for indexing, catalo...</li></ul>

Consensus <https://consensus.app/>

SCISPACE <https://scispace.com>



Chatbot

最近のSNSのフェイクニュースについてどう思いますか？

承知した。ここではプラトンの哲学者としての役割を完全に体現し、あなたの問いに答える。SNS上のフェイクニュースの問題について、これは現代の課題であるが、私の哲学の枠組みを用いて考察することができる。

まず、偽りと真実の問題は、我々の魂がいかにして真理に到達するかという、哲学の根本的な問いである。現代のSNSにおけるフェイクニュースの問題は、情報が容易に広まり、またその多くが虚偽である可能性があるという点で、ソフィストたちが虚偽の知識をもって人々を惑わした状況に似ている。虚偽の情報は、魂を混乱させ、真の知識への道を妨げる。

私が『ソフィスト』において議論したように、虚偽は「存在しないものを存在すると見せかける技術」である。この点で、フェイクニュースは現代の「ファンタスマタ（幻影）」であり、真実のように見えるが実際には虚偽である。これに対抗するには、魂が真理を見極める能力、すなわち「哲学的な洞察」が必要である。

また、我々は情報を受け取る際に、単にその表面的な形を信じるのではなく、それが「存在するもの」としての本質を持つかどうかを問わなければならない。これは、教育と批判的思考を通じて可能となる。SNSという現代の「洞窟」において、多くの人々が影を真実と誤認してしまう状況は、まさに『国家』における洞窟の比喻を思い起こさせる。

したがって、この問題への私の答えは明白である。人々が真実と虚偽を区別する力を養い、虚偽の情報を見抜くための知的な訓練を受けるべきである。これは、哲学的な探求と教育を通じて実現可能である。真理を求めること、それが魂を高め、社会をより良い方向へ導く唯一の道である。

**Sources**

- ▶ Plato Sophist (14/31) / 0.25670439
- ▼ Plato Sophist (28/31) / 0.251475781

ΞΕ. σὸν ἔργον δὴ φράζειν περὶ οὗ τ' ἔστι καὶ ὅτου. ΘΕΑΙ. δῆλον ὅτι περὶ ἐμοῦ τε καὶ ἐμός. ΞΕ. τί δὲ ὅς' αὐ; ΘΕΑΙ. ποῖος; ΞΕ. Θεαίτητος, ᾧ νῦν ἐγὼ διαλέγομαι, πέτεται. ΘΕΑΙ. καὶ τοῦτον οὐδ' ἂν εἰς ἄλλως εἶποι

Enter your question here

Generate Answer

Clear conversation history

Show conversation history

## 指定した資料に基づく生成・出典の明記

Ciniiで大向一輝と共著者5名の論文を検索し、ここ5年くらいの研究動向の推移をまとめて

1月27日

c advanced\_search\_detailed

リクエスト

```
{
  `author`: `大向一輝`,
  `year_to`: 2025,
  `year_from`: 2020,
  `max_results`: 50
}
```

レスポンス

```
[{"title": "書簡史料を対象としたマクロテキスト分析手法の検討：古代末期ガリアの二つの書簡集を事例に", "link": "https://cir.nii.ac.jp/crid/1050025020476532096", "rdf_url": "https://crid/1050025020476532096", "author": "小川, 潤", "year": 2025, "journal": "情報処理学会論文集", "journal_title": "情報処理学会論文集", "issn": "", "volume": "2025", "number": "", "starting_page": "335", "ending_page": "342-06", "description": "本研究は、古代末期ガリアの二つの書簡集——シドニウス・アポリナリスとルリキウス——を対象に、デジタル人文学的手法を用いたマクロテキスト分析の枠組みを検討したものである。マクロテキスト分析とは、歴史的な文脈を踏まえ、大規模なテキストデータを対象として、その構造や内容を多角的に分析する手法である。本研究では、古代末期ガリアの二つの書簡集を対象とし、マクロテキスト分析の枠組みを用いて、その構造や内容を多角的に分析した。その結果、古代末期ガリアの二つの書簡集は、それぞれ異なる特徴を持つことが明らかになった。また、マクロテキスト分析の手法を用いることで、従来のテキスト分析手法では見逃されていた重要な情報を抽出することができた。本研究の成果は、古代史研究や言語学研究に貢献するものと考えられる。"}]
```

50件の論文が検索できました。次に、主要な共著者との関係を分析するため、共著論文が多い5名の共著者を特定します。

検索結果から、大向一輝の主要な共著者5名を特定しました：

1. 小川潤 - 歴史知識グラフ、TEI/RDF、プロソポグラフィ関連
2. 永崎研宣 - デジタル学術編集、仏教学、OCR関連
3. 中村覚 - LOD、教材アーカイブ関連
4. 阿達藍留 - DAKit、デジタルアーカイブ構築関連
5. 大井将生 - 教育・キュレーション学習関連

共著者5名のそれぞれの論文を検索し、大向の論文と合わせてコミュニティの関心・動向をまとめて

主要共著者5名それぞれの論文を検索します。

▼ ステップを非表示

c advanced\_search\_detailed

```
{
  `author`: `小川潤`,
  `year_to`: 2025,
  `year_from`: 2020,
  `max_results`: 30
}
```

レスポンス

```
[{"title": "書簡史料を対象としたマクロテキスト分析手法の検討：古代末期ガリアの二つの書簡集を事例に", "link": "https://cir.nii.ac.jp/crid/1050025020476532096", "pdf_url": "https://cir.nii.ac.jp/crid/1050025020476532096/pdf"}]
```

c advanced\_search\_detailed

c advanced\_search\_detailed

c advanced\_search\_detailed

c advanced\_search\_detailed

## AIツールによる複数回の検索＋統合

検索結果を分析して、大向一輝と共著者5名のコミュニティ全体の研究動向をまとめます。

大向一輝と主要共著者5名の研究コミュニティ ↓ : 動向と関心の総合分析 (2020-2025年)

- 前提:大規模言語モデル(LLM)とコンテンツの両方が必要
  - LLM提供者のアプローチ
    - ウェブと対象としたDeep Research
    - MCP=ユーザとの接点の一本化
  - コンテンツホルダーのアプローチ
    - 自社コンテンツを対象としたRAG
      - Primo Research Assistant・LeapSpace (ScienceDirect AI)
  - サービス提供者のアプローチ
    - オープンな学術データを対象としたDeep Research・RAG
      - OpenAlex・Semantic Scholar
    - メタデータの拡張
      - CiNii Research自動翻訳機能
    - MCPへのコミット？

- 何を知っているべきなのか？
  - AIの使い方
    - ハルシネーション
    - 「あなたは優秀な〇〇です」「ステップバイステップで」・・・
  - AIの仕組み
    - 事前学習：入手可能な言語データの統計的なパターンを学習・模倣
    - 事後学習：倫理的・社会的な振る舞いの「しつけ」
    - 情報システム：さまざまな要素技術の組み合わせ
  - AIの影響
    - 査読システム ⇔ 出版モデル
    - 「オープンアクセスバイアス」(佐藤翔先生)
- 最新の状況は広く共有されていない
  - 知識の底上げと平準化

- コンテンツホルダーとしてのデジタル・ライブラリー
  - AIは入手可能な言語データに依存する
  - ここにしかないデータ・データを生み出すシステムの重要性
- 見えているコンテンツ
  - オープンアクセスバイアスに寄り添う
  - 資料の内部に踏み込む(目次・見出し・全文…)
  - 「日本語蔵書のデジタル化にあたっては、国立国会図書館の蔵書のデジタル化を中核に、各大学図書館等がこれとは重複しないよう留意しつつデジタル化を進め…」(オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について(審議のまとめ))
- 見えないコンテンツ
  - 「この分野の第一人者は？若手は？」
  - 研究のトレンドとその変遷

- 人文系の大学院生からの質問
  - 人文社会科学に関する科学社会学の先行研究について、Public Understanding of Social ScienceやPublic Communication of Humanities and Social Sciencesなどの知見も踏まえてください。
  - 南琉球八重山語白保方言の歴史的背景や起源と、音韻・文法の特徴を中心にレポートにまとめてください。
  - キュプリアヌスはテルトゥリアヌスから思想的な影響を受けているといわれますが、そのような主張をしている研究文献を網羅的にあげてください。また、そこで参照されている一次史料箇所を提示してください。
  - The As-Af-Eur-Am-Asian Societyについて教えてください。
  - イスラエルのナショナリズムとホロコーストの「仮想犠牲」の関係についての研究をまとめてください。
  - 16世紀のケルンで活動していた神学者であるJohann Gropperに関する伝記的情報と思想の特徴を先行研究を明示しながらまとめてください。

# 「ディープな問い」に答えるために

- AIを媒介にしてディープな問いの内実を知る
  - 見えないコンテンツとの接点を探る
  - レファレンスの高度化へ
- 誰かが知っていることを最短時間で引き出すためのネットワーク
  - ライブラリアン同士のつながり
  - ライブラリアンと研究者のつながり
    - 「人と知識のILL」へ